

震災対策

倒壊等の危険物対策は

補助金要綱を制定し対処



やまざき まさお 議員
山崎 正男

加えて、避難場所へ浄化槽等の設置をすべきではないか。

答 松本情報防災課長

避難路で倒壊の危険性があるものは今年度中に、補助金交付要綱を制定して、解決を目指したい。

避難行動は率先避難を目指した避難訓練を実施していかなければならない。町内の避難路299カ所、避難広場168カ所の要望があり優先順位を定め、順次整備を進めていく。

問 地震、津波が起きた場合の対策について問う。

まず、倒壊等での危険物対策や時間内にどれだけの人数を誘導できるかなど、避難行動の方法やルートづくりが必要ではないか。また、既設の避難道の不備な点は改良修復するののか。

次に、避難タワー建設の場所や収容規模をどう考えるののか、地元と協議は進んでいるのか、補助期限はないののか。

更に、これらへの用地提供者に謝金が必要ではないか。

浄化槽等は今すぐに整備をする計画はない。



南郷小学校裏避難道

環境対策

合併浄化槽の 設置状況は 生活排水処理 構想で推進

問 集落排水や合併浄化槽の設置状況について問う。

まず、汲み取り槽や単独槽の改善策をどう進めるか。衛生車両の入る道の拡幅、設置余裕のない敷地の対策や、現状のし尿処理場の規模や地震

等の安全対策は十分か。また、河川雑草や海岸のゴミ処理について町の処理対応は、地元や漁協やボランティアに対する支援はあるのか。更に、河川や海の水質対策の現状と今後の計画を問う。

答 松田 住民課長

集落排水は加入者の増えない状況で運営が困難。平成22年度、黒潮町生活排水処理構想を策定し、合併浄化槽の推進を図る。平成23年度末で累計合併槽1030基、単独槽315基で普及率は23.5%。

衛生車両は便槽から80m程度離れても汲み取りができる。対応のできない家屋は約9軒で地権者の方にもご協力を頂いて整備の必要がある。設置余裕のない敷地には、コンパクト型浄化槽もあり用途に合わせた方法を考えていきたい。

衛生センターの処理能力は一日当り40klであり、現状は十分対応できている。施設の耐震化は構造計算書で確認、耐震性能があると考える。

河川の雑草等は県土木にそ

の都度要望し、対応している。海のゴミ問題は県や緊急雇用事業等で行政と地域やボランティアの共助で問題解決を図りたい。

その他の質問

※猪対策について
※学校給食について
※国保税対策について



佐賀伊与木川鉄橋付近に溜まったゴミ